



福田匡史 栃木支部・支部長
小坂敏之 栃木支部・副支部長
塚本勝士 栃木支部・常任幹事

10月22日、23日に宇都宮市で開催された2011ジャパンカップサイクルロードレース。かねてよりこのジャパンカップに地元・栃木支部が様々な協力を行っています。今回は特別バージョンとして、栃木支部の福田支部長をはじめ、小坂副支部長、塚本常任幹事に同席いただき、ジャパンカップと栃木支部の関わりについてお話を伺いました。

競輪ってこんなこと やっているんだ!!

ジャパンカップを観に来たお客さんにも競輪場へ足を運んでももらえれば。ロードと競輪のファンが交流出来るようになればいいですね。

—まずは栃木支部とジャパンカップの関わりというのはいつ頃からでしょうか？

「1990年にロードの世界選手権を宇都宮でやって、それを記念して1992年からジャパンカップが出来たんですけど、もうそこからの関わりだと思います。以前は栃木チームとして選手がレースに参加させてもらっていたんですけど、レベルが上がって行くうちにさすがに僕ら競輪選手は走れなくなりまして(笑)。今は大会のお手伝いが中心ですね」

—具体的にはどんなお手伝いを？

「今はドライバ的なことが主ですね。ゲストのお客さんや、プレス関係の方を車に乗せてコースを走ったり。毎回、役員を中心にOBを含めて10人くらいは人員を出して協力しています。歴代の支部長は運営のほうにも

ちよつと関わっていて、僕も今年は何回か会議には行かせてもらいました」

—昨年からは宇都宮市街でクリテリウムが行われ、そちらにはまた競輪選手が出場することになり、競輪をアピールするいい機会になりますよね。

「そうですね。ちよつとでも競輪選手が走ることでずいぶん違うと思うので。また今年は栃木支部からも9名がクリテリウムのパレード走行に参加することになったんですよ。今年は20周年大会なのでパレードを大々的にやるそう。地元プロチームの宇都宮ブリッツェンの後ろで、競輪の勝負服を着て走ります(笑)」

—パレード走行のスタート地点は宇都宮競輪場だそうですね。

「そうですね。出場する選手たちは全員競輪場に集まって、そこから隊列を組んでパレードが始まります。

「一応バンクを使ってアップもするので、出来ればそういうところからファンの方に見てもらえればいいんですけど、今回は場外もやっていたので、ちよつと難しく。ただ場外の時に、オーロラビジョンでジャパンカップのPR映像を流すようですよ」

—今後のジャパンカップとの関わりにはどんなビジョンを？

「まあスタートからずつと一緒にやってきて、今後も色々関わって行くとは思いますが、まず今後はパレードのスタート地点ということで、ジャパンカップを観に来たお客さんにも競輪場に足を踏み入れてもらえればいいですね」

—宇都宮は今「自転車のまち」として市をあげて盛り上げていますし、競輪もいい形でそこに加わって行けるといいですね。

「今回そういう第一歩ということですからパレードにも参加しますので、これからもそういう形でやって行ければ一番いいんですけどね。やっぱり競輪も実際観ても見えれば面白いと思うんですよ。だからジャパンカップだけじゃなくて、ひとりでも多くの方に競輪のほうにも足を運んでもらえればと。ロードのファンと競輪のファンが一緒に交流出来るようになればいいですね」